

春日小学校 学校運営協議会だより

令和4年9月28日
発行 春日小学校
学校運営協議会事務局

【学校運営協議会とは…】

教育委員会や校長の責任の下、地域と学校をつないで、地域全体で子どもを育てるために、学校の教育活動を支援し、評価し、提言や助言等を行っていく組織です。学校運営協議会が設置されている学校を「コミュニティースクール（略称：CS）」と言います。春日小学校の学校運営協議会は、2012年に設置されました。

設置から10年になる春日小学校学校運営協議会の実践は、これまで上越市のコミュニティースクールの一つのモデルとなってきました。また、コミュニティースクール全国大会での春日小学校の実践報告（星野校長発表）を受けて、「NPO法人 みらいず works」から、書籍「協働デザイン入門～地域と学校でともに学びをつくる～」で春日小の取組が紹介されることになっており、全国のモデルにもなっています。

【今年度前半を振り返って】

4月18日 令和4年度学校運営協議会委員による新体制づくり及び打ち合わせ

第1回カリキュラム検討会

※「カリキュラム検討会」とは、年度の初めに、1年間の学校の教育活動について、CS委員や学校支援本部のコーディネータを交えて、学年ごとに話し合う会です。その中で、具体的に子どもたちの学びや活動をイメージし、人材や環境など支援を必要とすることや地域として支援できることについてCS委員やコーディネータの助言を得ながら、考え合い、教育活動を形作っていきます。

この検討会を経て、早々に学校支援本部や地域の方々との協働で子どもたちの活動がスタートしました。その活動のいくつかを写真で紹介します。



「交通安全教室」



「田植え」



「野菜作り」



「提灯作り」

各学年の話し合いは、グランドデザインに基づいて活発に行われ、拡大されたカリキュラム表に次々と意見が書き込まれ、実践に向けてのイメージが作り上げられていました。

裏面に続きます。

5月25日 第1回学校運営協議会

主な内容を報告いたします。

教育目標「やさしく かしこく たくましく」

中心課題

社会性をはぐくむ

自己有用感 人間関係づくり 規範意識 集団活動

求める子どもの姿

自分を見つめ、豊かにかかわり合う子ども

星野校長からは、感染症対策についての説明のあと、CS 全国大会での実践報告が参加者から称賛されたことを受け、地域とともに子どもを育てる実践を継承し、教育目標「やさしく かしこく たくましく」をこれまで以上に積極的に具体化していくと説明がありました。また、ランドデザインにある春日中学校区の小中一貫教育で取り組むことについても合同会議が開かれており、取組の精選や共通理解が図られていると説明がありました。

委員からは、「小中一貫については、スリム化して各校の共通理解を図っていくことに賛成だ。地域愛を大人になっても伝えていける人に育ててほしい。」「地域愛、学校愛は大切だが、小中一貫という枠組みの中で、出身小学校は違っても、ともに切磋琢磨して認め合いながら育ていけるよう、保幼小中の取組を進めてほしい。」という大局に立った意見が出されました。

令和3年度の成果と課題から、春日小学校は、大規模校にあっても、地域の力を借り、活かしながら、教育活動の充実を図っていることを改めて評価しました。ボランティアの力は大きいので、今後人材についての発掘や協力、実のある活用に結び付く登録や依頼を進めることへの提言がありました。この意見交換の中で、中心課題「社会性をはぐくむ」意味でも、子どもたちが自ら活動に必要な人材を求めて発信し、学びに活かし、学びの成果を地域に還元していくという一連のプロセスも大切であるという意見があり、コロナ禍ですが、これまで実践してきたことを改めてこの視点からとらえ直すことの大切さを委員一同再認識しました。これまでも子どもたちが受け身にならぬよう、事前に講師に質問内容を送ったり、活動後に感想文や学習のまとめを送ったりしています。また、春日地域青少年育成会議では、中学生が主体的に町内会長の皆さんに発信する場を設定していることも報告され、子どもたちの主体性を大切に活動が進められていることが分かりました。

春日小学校では、これらの意見を得て、さっそく1学期中に地域へのボランティアの募集案内を作成、回覧し、登録を進めてきました。その結果、6年生への金管指導や花や花壇の手入れ、校内の清掃、消毒等の作業に登録して下さった方々がおられ、夏休み中から活動を始めてくださっているところもあります。また、募集とは別に、自主的に学校の活動への協力を申し出て下さった方もおられ、委員一同ありがたく思っています。

8月2日 第2回カリキュラム検討会

CS 委員やコーディネータが参加し、学校職員とともに1学期やこれからの活動について意見交換しました。「社会性をはぐくむ」ために主体的な学びが形成されるよう活動が展開されてきていることを各学年の活動から共有しました。



手入れをしていただき、美しくなった花壇

コロナ禍の状況は続きますが、春日小学校は、子どもたちの安全を最優先に考え、適切な対応をとっていることを学校運営協議会でも確認しています。不自由さは誰もが感じていますが、その不自由さを誰かのせいにするのではなく、家庭、地域、学校の協働で乗り越えていきたいものと思います。